

平成27年度 第1回みんなで支える森林づくり上小地域会議

(議事録)

開催日時：平成27年11月10日(火) 13:30~17:00

開催場所：上小森林センター他

出席委員：金山睦夫委員、田中雄介委員、矢ヶ崎雅哉委員、石井公彦委員、
矢嶋茂雄委員

事務局：長野県上小地方事務所林務課

1 現地調査 13:30~14:50

- (1) 森林づくり推進支援金による間伐材活用事例(ふるさと公園あおき)
・県産間伐材による「あずまや施設」



2 会議 15:00~17:00

- (1) 開会

<事務局>

ただいまから、平成27年度 第1回みんなで支える森林づくり上小地域会議を開催します。今回、所属先の転退職により、2名の委員が変わりましたので、御報告申し上げます。菅沼委員が池内委員に、別府委員が矢嶋委員となりました。よろしくお願いいたします。

<事務局>

本日、都合により上原委員、加々美委員、池内委員が欠席でございます。事務局、各委員様の自己紹介をお願いします。

・・・事務局、各委員自己紹介・・・

<事務局>

それでは、会議事項に入りたいと思います。地域会議設置要領第4の2に基づきまして、議事進行を金山座長にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

(3) 会議事項

<金山座長>

これから議事を進行させていただきます。

会議次第の会議事項(1)コンプライアンスの推進について、事務局説明をお願いします。

<事務局説明>

○コンプライアンスの推進について

- ・大北森林組合の補助金不正受給等に関する報告書(要約版) 資料2
- ・大北森林組合の補助金不正受給等に関する報告書 資料2-1
- ・林務部コンプライアンス推進行動計画 資料2-2

<金山座長>

御質問、御意見がありましたら、お願いします。

<金山座長>

森林税を含めた分を返還していくのですか。

<事務局>

森林税を含めた分を返還するよう求めています。

ただ、現在大北森林組合の補助事業が止められている状況なので、今後どのように返還するのか不透明な状況、また森林整備の遅れも懸念され課題となっています。

<金山座長>

森林整備の手段ではいろいろ問題あったと思いますが、森林整備は必要なことであつたと思います。

<事務局>

平成18年度当時、クマによる事故や出没が多数あり、被害防止のための森林整備の必要性が高まり、職員が説明会や作業承諾などを行っていましたが、疎遠だった森林組合にお願いして整備した状況背景があつたのではないかと思います。

<矢嶋委員>

大北森林組合の関係は、いろいろな事情、背景があると思いますが、必要としている長野県の森林資源をどのように維持管理していくかという大きな役割があるので、

このことによって森林税規模や使い道が縮小することがないようお願いしたい。

不在地主（地主が放置している山）が拡大しているし、私たちの山の維持することが難しくなっている。どうやって管理していけばいいか、経費をかけず地域の人みんな管理しないと、経費について行政にしわ寄せがきたり、その行政に便乗して不正なことが起こったりする。林業の状況が大きく変わってきていて、所有者が森林を管理することが非常に難しくなっていると思った。

<事務局>

森林税については、今後も必要性を丁寧に説明していきたいと思います。昔は、何らかの形で山と関わりを持っていたが、近年、森林所有者が山に関心がなくなってきた、特に所有規模が小さく不在村地主が多い里山が荒廃してきていることから森林税を立ち上げて、進めてきたところです。上小地域は松くい虫対策にもっと力をいれたほうが良いという意見もありますので、また御意見を聞きながら森林税のPRや県民会議などにつなげていきたいと思います。

<金山座長>

必要な森林の維持管理については、萎縮しないようにやっていただきたい。

つぎに、（２）平成27年度「長野県森林づくり県民税」活用事業の実施状況について、事務局から説明を頂き、その後に皆様から意見を頂きたいと思います。それでは事務局から説明をお願いします。

<事務局説明>

○平成27年度「長野県森林づくり県民税」活用事業実績について

- ・平成27年度計画・・・・・・・・・・資料3-1
- ・みんなで支える里山整備事業・・・・・・・・・・資料3-2
- ・森林づくり推進支援金・・・・・・・・・・資料3-3
- ・信州の木活用モデル地域支援事業・・・・・・・・・・資料3-4
- ・木育推進事業・・・・・・・・・・資料3-5
- ・アンケート調査について・・・・・・・・・・資料3-6

<金山座長>

それでは、先ほどの説明に対しまして、意見、質問をお聞きしたいと思います。

<矢嶋委員>

松くい虫被害は、薬剤散布などこれ以上防除対策は難しいのではないかと、また被害跡地の広葉樹の植栽に力を入れてもらったほうが良いのではないかと思います。

また、過去の立ち枯れした被害木は、大変危険であり対策があれば教えていただきたい。

また、地域にある間伐材などで地域の子供たちに木工指導をしたいが、製材などの技術などの指導をしていただきたいがどうでしょうか。

<事務局>

松くい虫被害は、徹底的にやらないと止めることが難しい。広葉樹に転換していくことも実施しているが、被害の状況、高度、松茸などコアな場所はしっかり守っていく方針です。被害の大きいところは鎮静化するのは難しい。被害木を伐採して光を当てて広葉樹を育てる方法もあります。松茸山など地域で大切にしている山は、行政だけでなく、地域も松くい虫対策に参加していただければ有難いと思います。

木育については、森林税活用事業を活用していただければと思います。

<金山座長>

「信州の木活用モデル地域支援事業」の資料にありましたミニチュアハウスについて説明してください。

<田中委員>

長野県木材青壮年団体連合会で、学校の子供たちに体験をしてもらいながら木造の在来工法構造を理解してもらうために計画しています。組立、解体ができるものとしたいです。

<金山座長>

それでは、(3) 全国植樹祭についてお願いします。

<事務局説明>

・「全国植樹祭パンフレット」により説明

<金山座長>

では、全国植樹祭、その他まとめて上小地域の森林づくり全体について、御意見御質問いただきたいと思います。

<矢ヶ崎委員>

信州の木活用モデル地域支援事業、木育推進事業について、各団体の手の上がり方（応募）は、多いですか、少ないですか、実態を教えてください。

<事務局>

最近、手の上がり方（応募）が少ない状態で、継続事業が多い傾向にあります。木育については、唯一未実施だった青木村で来年取組をしていただけることになりましたので、3月の地域会議では御報告ができると思います。今後新規箇所は少しずつ、出

てくる見込みです。

<矢ヶ崎委員>

今後も積極的にPRをお願いします。

<石井委員>

クマ被害を防止のための緩衝帯整備を要望している地域のためにできることを考えたときに国庫事業をもってきたら、要件が違うとのことで問題になった。できれば、このような時に森林税をつかうべきと思う。里山の所有者も高齢者で、手入れができない状態ですが、畑や藪もあり、補助要件が難しい。このように目に見えるところで森林税が使っていけるようお願いしたい。

<事務局>

森林づくり推進支援金は、市町村の課題について、比較的自由に使えるもので、目に見えるところで使えると思います。森林税活用事業の重点としては、やはり間伐推進であり、国庫事業できないところや土砂流出など林地荒廃しているところなどを中心に行っていた。今後は、もっと地域の課題、上田地域では松くい虫被害対策ですが、これにもっと活用できないかという市町村からの要望が多いので、検討していくことが必要と思います。

<石井委員>

地域の要望に対応できる森林税活用事業にしていただければ有難いし、もっとそのような事業を増やしていただきたい。

<金山座長>

森林税の使い方として、地区の集会場整備などに財産区など地域の材を使った材料の支援などもいいのではないかと。

<田中委員>

地域の材を使えば、地域の製材屋に仕事が入り、地域経済の循環があると思います。

<矢嶋委員>

循環が滞っている現状が課題。私の生産森林組合も無料奉仕で森林整備を行っている状態。働いた分だけ、収入が得られる状態にしてほしい。年々森林整備は、難しくなっている。今後、森林をどうやって維持管理をやっていくのか悩んでいる。

<事務局>

生産森林組合について、先進地の取組の情報を集めたり、収入の可能性をいっしょに

考えていきたいと思えます。

<事務局>

最後にですが、全国植樹祭について説明をさせていただきましたが、まさに50年ぶりの大規模な式典です。植樹会場の一つに上田市が選ばれ、成功させていきたいので、それぞれのお立場から御支援御協力をお願いします。

<金山座長>

他に委員の方から何かありますか。特になければ、すべての議事を終了します。ありがとうございました。